

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

2018年6月第430号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>



イエスのみ心

主任司祭 内藤 聡

早いもので富士吉田教会に赴任してから1ヵ月が経ちました。こちらに来てからはあっという間に日が過ぎた感じですが、だんだんと教会の雰囲気や環境にも慣れてきました。

また、6月には梅村司教様をお招きして堅信式が行われます。今、子どもと大人が一緒になって堅信の準備に励んでいますので、どうか皆様も彼らのためにお祈りと協力をしていただければと思います。

さて、教会の典礼暦も復活節を終えて年間へと戻ってきました。また、6月はイエスのみ心の信心があります。

多くの教会では、「イエスのみ心」の御絵などがあります。見たことある方もいると思いますが、この絵の図柄としては茨で傷つけられながらも火が燃え上がる形で描かれる。これは、「罪に傷つけられた心」と「それでも燃え出でる神の愛の力」を意味している。

イエスのみ心は全人類に対する神の愛の象徴としてイエスの心臓を表し、その信心はイエスのみ心に表される神の愛を思い起こし、その無限の愛のしるしであるみ心をたたえるものとして中世に始まりました。

特に聖マルガリタ・マリア・アラコック(1647-90)がみ心の信心についての啓示を受けて17世紀にフランスで広まりました。1675年6月16日、この聖女はご聖体を前にして、イエスの愛にこたえたいという思いに駆られました。そのときイエスは、愛情に燃えているみ心を示して、人々の間に欠けている冷淡な心を嘆かれ、イエス自身の愛に倣ってその心を尊ぶことを勧められました。

またこのようなイエスの出現が数回にも及び、ご聖体の祝日(キリストの聖体)後の金曜日をみ心を礼拝する特別な祝日として定めるようにとのお告げにより、み心の信心の内容と形式が明確にされるようになりました。彼女を通して知られるようになった信心の実践は、聖体拝領を頻繁に受けること、特に月の第一金曜日(初金)に神の愛を覚えて聖体拝領に与ること、そして聖時間という1時間ほどの祈りの時間の実践でした。

ミサで聖体拝領に与ることを極端に避けるというのは、自らの罪による遜りくだりではありません。人間の罪よりも神の愛の大きさはるかにまさり、はるかに大きく、はるかに深いことを、否定することです。確かに人間は罪の現実から自由になれない存在であるし、いとも簡単に罪とわかっていてそれを避けることが出来たにもかかわらず、避けない、つまり、自由意思に基づいて罪を選びとる傾きはあります。だが、その罪の現実気づく時、胸を痛める時、もうすでに、罪よりもはるかに大きく深い神の愛の現実には包まれています。

私たち人間を極みまで愛してその身を十字架に捧げて、血と水を流してくださったイエスのみに私達も今1度、黙想し祈りたいと思います。私達もこのイエスの愛に力づけられながら、これからの信仰生活をより良いものとしていくことが出来るように歩んでいきましょう。



Pre-synodal meeting 報告

松島 遥

日本司教協議会からの派遣を受け、日本の代表者として3月19日～3月25日にイタリア ローマで開催された Pre-Synodal meeting に参加しました。

2018年シノドス（世界代表司教会議）のテーマは「Young People, the Faith and Vocational Discernment」で2018年10月に開催されます。それに先立ち、世界各国の若者の声を聞きたいということで教皇様より招集を受けました。

いくつかの言語ごとの小グループに分かれ、世界各国の異なる状況に置かれる青年と協働しながら文書の作成をしました。その文書がシノドス本会議の中で世界の青年が置かれている状況に関する資料として参考にされるそうです。

バチカンHPでご覧いただけます。

(<http://www.synod2018.va/content/synod2018/en/news/final-document-from-the-pre-synodal-meeting.html>)

いろいろな背景を持つ青年同士で一つの文書を作成する過程には、様々な背景から集められているからこそ様々な思いがあり、意見の相違やお互いの状況や背景を理解しにくいなどの困難がありました。その中でもより青年の状況が反映される文書をみんなで作りたいという思いは非常に強いもので私もそのような強い思いを持って会議に参加しました。文書を作成する過程の中には人間の情熱と思いと時間が込められています。自分自身がその中に入り、過程を体験することで他の教会文書も同じように色々な人の情熱と思いがつまった文書であることを実感しました。

世界の青年が教会でどのような困難に直面しているのか、教会でどのような思いで働いているのか、一人一人がどのようにイエスと出会う経験をしたのか、どのような召命の識別の段階にあるのかなどを知ることができたことは、同じ時間を長く共有したからこそ得られた実りであると思っています。これらを今後の自分の信仰生活と教会での活動の糧にするとともに、今回得た実りを積極的に日本の青年と分かち合っていきたいと考えています。

また、当会議を通して出会い、情熱と思いと時間を共有した他国の青年との交わりを今後も大切にしていきたいと思っています。

こちらでは、小教区における青年の状況について感じたことを少しお伝えさせていただければと思います。私は富士吉田教会で洗礼を受け、富士吉田教会に長く関わっていたことから私の”教会”というイメージは富士吉田教会がベースになっています。

世界中の小教区教会では、洗礼を受ける人は多いけれど教会に通う人は少ない教会、催し物のために人はたくさん集まるけれど典礼に参加する人は少ない状況にある教会や、社会の風潮の中で他宗教に対する理解が排他的であることが原因で教会に通うことが危険な状況に置かれている教会もあると聞きました。各小教区が青年に関わる様々な困難の中で、もがきながらも教会を大切にしようと前に進んでいます。

富士吉田教会の高校生、大学生、青年などの若者は勉強や部活、アルバイト、仕事など忙しい環境に置かれているように感じています。もちろん富士吉田教会だけではなく、日本の各小教区で似たような状況が起きていることも耳にします。他の先進諸国の小教区教会における若者の事情も非常に似た状況にあると聞きました。

様々な困難に直面していますが、今私たちが直面する困難は忙しさだと考えています。もちろん私も例外ではありません。ここ数年はクリスマスや復活祭の際に再会する機会があります。中高生、大学生、青年会も徐々に活動しようと動き始めました。少しでもその忙しさの中から教会へ行く時間を見つけ、集うことができたかと考えています。今は忙しくても何年・何十年先だとしても、いつかふと時間が見つかった時にふらっと教会にでも行ってみようかなと思った時にいつでも帰ってこられる居場所作りをしていきたいと思っています。

富士吉田教会がいつでも帰ってくるのできる、ほっこりした祈りの家であって欲しいと思っています。それは他人任せにできる、ほっこりなのではなく、わたしも含めみんなと一緒に作る“ほっこりした場所”でありたいと思います。



合同聖歌練習

東海林美佐子

5月12日(土) 蕪崎教会4名、甲府教会8名、吉田教会は内藤神父様他8名計21名の即席聖歌隊ができました。まず甲府教会の皆さんの歌を聞かせてもらいましたが、男性パートもしっかり出来上がっていて、素晴らしい合唱になっていて、鳥肌が立ちました。答唱詩編、マラナタ、清い心を歌い、甲府教会の宮沢さんから、まず言葉を読み、その言葉祈りにメロディーがついている事、休符はしっかり休む事、重くならないように、遅くならないようになど指導を受け、最後ガリラヤの風かおる丘を歌い1時間強の練習は終了しました。その後、信徒館でティータイムを設け、自己紹介をしながら司牧委員会の時とはちがう、小教区を超えた和やかな時間を過ごしました。今までには経験できなかった、初めてのふれあいでとても素晴らしい機会でした。

これで終わるのではなく、いろんな方面でも、山梨地区としての活動が広がるといいと思いながら閉会となりました。

蕪崎、甲府の皆さんは、吉田のうどんを食べて、富士のマリア像に行き帰路に着いたそうです。神に感謝！！

教会委員会記録

5月6日 27名参加

1. 5～6月の典礼(こよみ参照)
2. 山梨地区共同宣教司牧委員会の報告
2018年新役員決定・規約の改定・9月29～30日横浜教区懇親会実施予定
3. こびっとプロジェクトについて
東北被災地巡礼5月11～13日・2019年3月9日被災地講演会予定
4. その他、堅信式次第作成・7月15～16日夏のキャンプ・7月フードドライブ実施

こよみ



6月

- 1日 (金) 初金曜日 ロザリオ10:00 ミサ10:30
- 2日 (土) こびっとプロジェクト 甲府教会 10:30
- 3日 (日) キリストの聖体 (祭日) (年間第9週) ミサ9:30 **教会委員会**
(聖堂清掃は河口湖・都留地区)
- 8日 (金) イエスのみ心 (祭日)
- 9日 (土) 聖歌練習 9:30
- 10日 (日) 年間第10主日 子供と共に捧げるミサ9:30 大掃除
- 13日 (水) 手芸会 9:30
- 17日 (日) 年間第11主日 堅信式 **ミサ10:30** パーティー (リズムホール)
- 24日 (日) 洗礼者聖ヨハネの誕生 (祭日) (年間第12週) ミサ9:30
(聖堂清掃は吉田地区)
- 29日 (金) 聖ペトロ 聖パウロ使徒 (祭日)

 毎週金曜日 ロザリオ10:00 ミサ10:30 (1,8,15,22,29日)
 イタリア語教室 月曜10:00 (4,11,18,25日)
 日曜学校 主日のミサ後~11:40 (10,24日)

7月

- 1日 (日) 年間第13主日 ミサ9:30 **教会委員会**
- 3日 (火) 聖トマス使徒 (祝日)
- 6日 (金) 初金曜日 ロザリオ10:00 ミサ10:30

6月のミサ奉仕

月日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	歌伴奏
3	東海林義夫	山本一孝		福永好雄	相沢千代子	シスター
10	曾根美香	栗原今朝夫	天翔	猪俣瞳子		シスター
17	東海林美佐子	—		小山田匡宏	宮本禮子	シスター
24	江守香代子	東海林義夫		志村好直	渡辺幹雄	シスター